

2024年度

Waffle College エントリーコース

インパクトレポート

はじめに

IT分野のジェンダーギャップの解消を目指す特定非営利活動法人Waffleは、2024年4月26日（金）～5月5日（日）、2024年7月5日（金）～7月15日（月）の2回にわたり、テックキャリアを目指す女子およびノンバイナリーの大学生・大学院生を対象としたコミュニティ「Waffle College」のIT初学者向けプログラム「Waffle College エントリーコース」を開講しました。

参加者からは、「文系学生の私も、プログラミングを学ぼうと頑張れたことを誇りに思えた」「自分の可能性を閉ざすことなく、自分を信じて今後の進路に向き合っていきたい」「これからもプログラミングを勉強したい」「もっと高度なアプリ開発をしてみたい」といった声があがりました。

Waffle Collegeとは

Waffle Collegeは、2022年から開始したプログラムです。、大学生・大学院生に対しIT未経験者からITエンジニアを目指すためのカリキュラムを提供しています。本プログラムは、「テックキャリア」「エンパワーメント」「リーダーシップ」の3つの軸を育てることを目指しています。1年間の活動を通じてITへの興味を醸成し、本格的なプログラミングブートキャンプを経験することで、インターンシップの獲得を目指します。

プログラムは、エントリーコース、テックキャリアコースの2つに分けて実施しています。

エントリーコースでは、ITエンジニアへの第一歩として、プログラミング初心者に対して、プログラミングを学ぶ機会、キャリア思考を培う機会、一緒にプログラミングを学ぶ仲間に出会う場を提供しています。

テックキャリアコースへの参加にあたっては、応募者の技術レベルを確認する技術選考を実施しています。選考を突破した学生たちは、約8ヶ月間かけてIT技術を学び、修了後はエンジニアとしてのインターンシップ獲得を目指します。

本プログラムは、すべて無償にて実施しています。

エントリーコースの開催概要

- 開催時期：
 - 1回目 2024年4月26日（金）～5月5日（日）
 - 2回目 2024年7月5日（金）～7月15日（月）
- 場所：オンライン
 - 交流会（任意参加）のみ現地開催。遠方からの参加者には、交通費の一部を支給。
- 費用：無料
- 参加者：85名
- 参加対象：
 - 国内外の大学・大学院・短期大学・高等専門学校・専門学校などに在籍する、女子およびノンバイナリーの方（プログラムの性質上、社会人経験者の方は対象外）
 - 学部・学科専攻などは不問（文系・未経験の方も大歓迎）
 - 日本語でのプログラムに参加できること
 - Waffle主催の無料説明会（オンライン）への参加が可能な方
 - 平日夜・土日祝（日本時間）に開催される、オンボーディングおよびDay1-Day3に必ず参加できる方
 - 事前学習（週20時間程度）に確実に取り組める方

エントリーコースのプログラム内容

10日間という短期間で「テックキャリア」「エンパワーメント」「リーダーシップ」の3つの軸を育てるため、下記4点の取り組みを実施いたしました。

IT教育

プログラミングをする上で基礎となるフローチャートや変数などを学びながら、Thunkableというノーコードツールを使用したアプリ開発手法を学びました。また、プログラムの最後には、3-5人1組のチームを組んで身近な課題を解決するアプリをチームで開発・発表しました。

ジェンダー講座

ジェンダーの専門家による講演を実施しました。女性がキャリアを築く際に直面する課題について、その背景にある社会構造の問題と共に理解を深めました。参加者たちが自身の権利・価値を改めて自覚し、自身のキャリアについて積極的に考え、行動していけるよう支援する内容です。

ビジネス講座

起業家兼エンジニアの女性を講師に迎え、アプリ開発の工程や必要な視点を学びました。参加者たちは、この講座で得た知識を活かし、プログラムの最後に行うアプリ開発に積極的に取り組みました。具体的には、ユーザーインタビューやユーザーに寄り添ったUIデザインをおこなうなど、実践的なスキルを身につけました。

ロールモデル講演

ロールモデルを通じIT分野への興味関心度合いを高めてもらうことを目的とし、Waffle Collegeの過去参加者にご協力いただき講演会を開催しました。講演会では中高・大学でのエピソードやITに出会ったきっかけ、Waffle Collegeでの学びから現在の取り組み等についてお話しいただき、受講生にとって非常に有意義な時間となりました。

交流会

Waffle Collegeは原則オンラインのプログラムですが、学生同士の横の繋がりを大事にした

いという思いから、毎回プログラムの一環としてオンサイトの交流イベントを開催しています。今回もコース修了後に学生たちが集まる交流会を開催しました。

5月の参加者向けの交流会は東京と大阪でそれぞれ開催し、近郊の学生が参加してくれました。また、Waffle College卒業生によるロールモデル講演もおこなわれるなど、有意義な会となりました。

また、7月の参加者向け交流会は、ユニティ・テクノロジーズ・ジャパン株式会社（東京都中央区）のオフィスを会場としてご提供いただき、会社紹介や従業員との交流など、楽しい時間を過ごしました。なお、本交流会は、東京での開催のため、首都圏以外からの参加者には、一部交通費の補助をおこないました。

2024年度エントリーコースの新しい取り組み

新たにAI教育とキャリア講座、そしてリーダーシップについて考える機会を追加しました。

AI教育では、AIに触れ合える教材を提供することで、最新の技術に興味を持つきっかけを提供しました。

キャリア講座では、キャリアの考え方を学び、自己分析を行うワークショップを実施しました。参加者は自分の過去を振り返り、その結果を仲間と共有することで、キャリアについての理解を深めました。

また、チームでの開発が始まる前段階でリーダーシップ目標を設定し、最後にはチームメンバーと振り返りおこなうなど、自身のリーダーシップのあり方を模索・向上する機会を設けました。

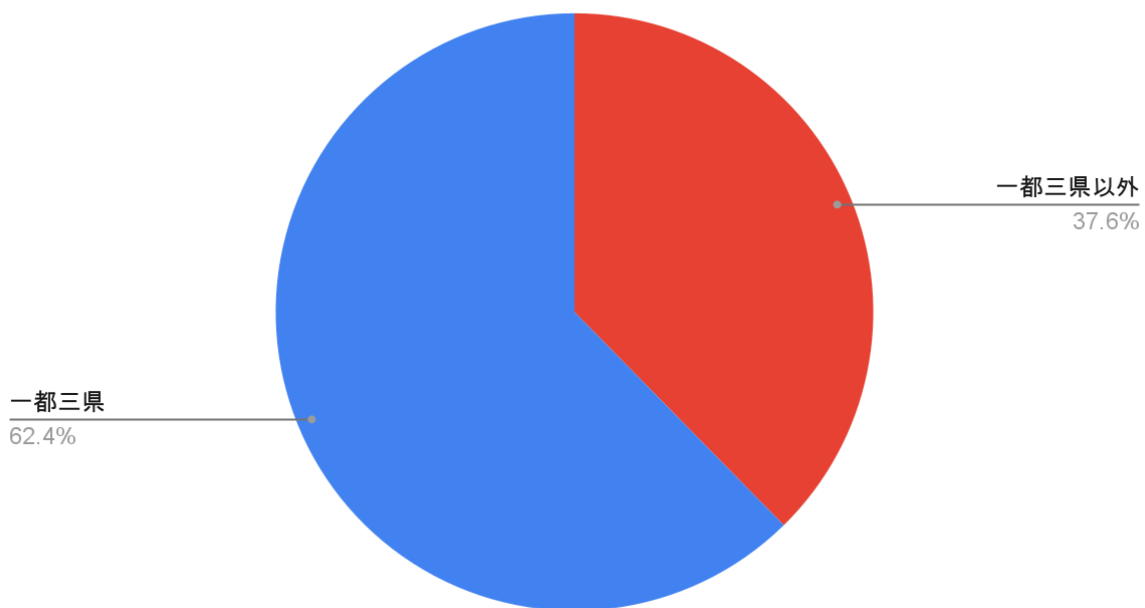
2024年度エントリーコースのインパクト

参加人数

85名がプログラムに参加しました。

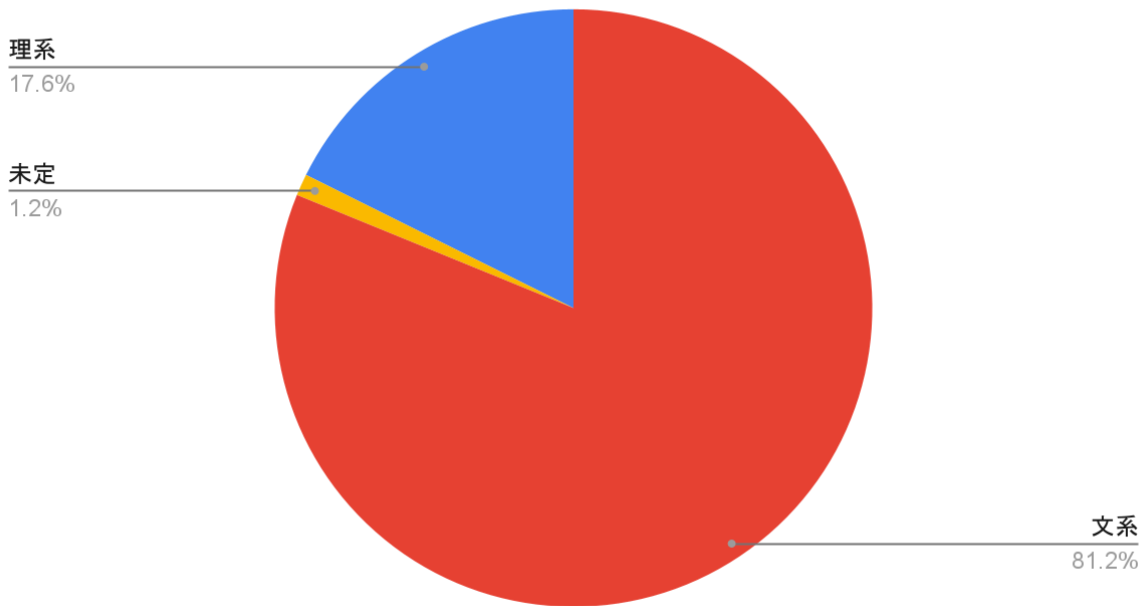
参加者について

エントリーコース参加者の所属大学(地域)



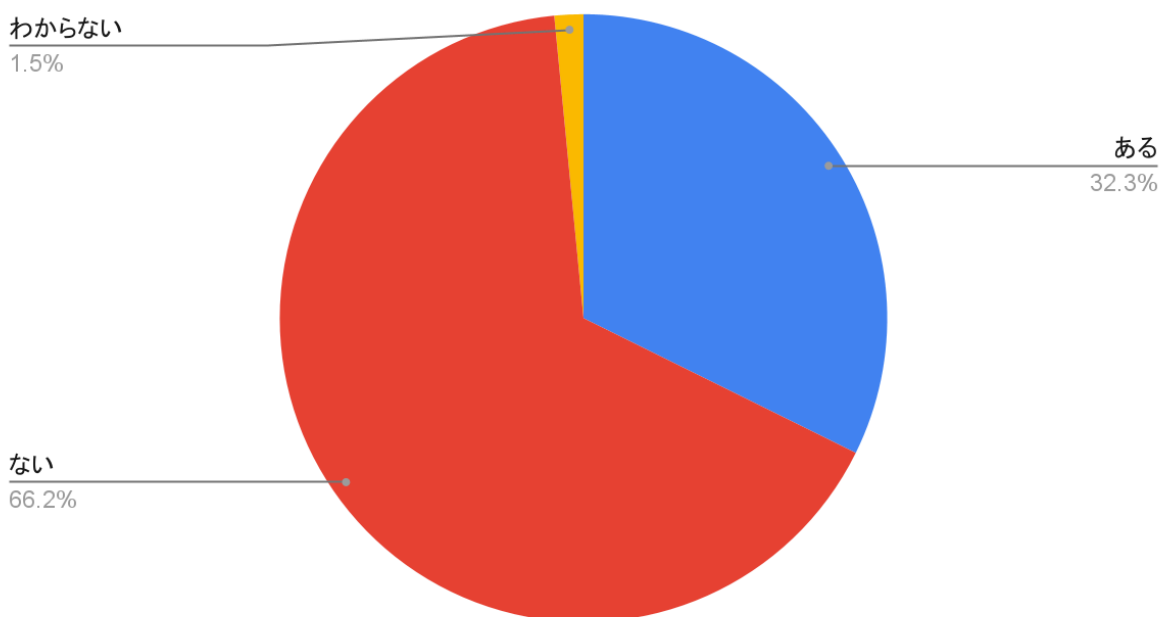
一都三県以外からの参加者は37.6%（愛知県、富山県、京都府、大阪府、兵庫県、福岡県、宮崎県、海外）

エントリーコース参加者の所属大学(文理)



理系学部以外からの参加者が多く、参加者の81.2%は理系以外の学部からの参加者（外国語学部、学芸学部、経済学部、文学部、総合政策学部、法学部、など）。

プログラミング経験



参加者の66.2%が、プログラミング経験がない状態で参加。

プログラムの満足度

参加者のうち、プログラム終了後のアンケートに回答してくれた65名の回答によると、プログラムのNPS（※）は約62（平均8.95）でした。内訳として、推奨者42人、中立者21人、批判者2人と、64%の参加者がプログラムに満足し、友人や知人に強く勧めたいと考えています。

その要因として、「初心者でも参加できる」「心理的に安全な環境」「励ましあえるコミュニティ」「プログラミング以外（ジェンダー・キャリアなど）も学べるプログラム」などが挙げられています。

※NPSとは、Net Promoter Scoreの略で、顧客ロイヤルティを数値化する指標のこと。推奨者（9-10ポイント）の割合－批判者（6ポイント以下）の割合で算出します。

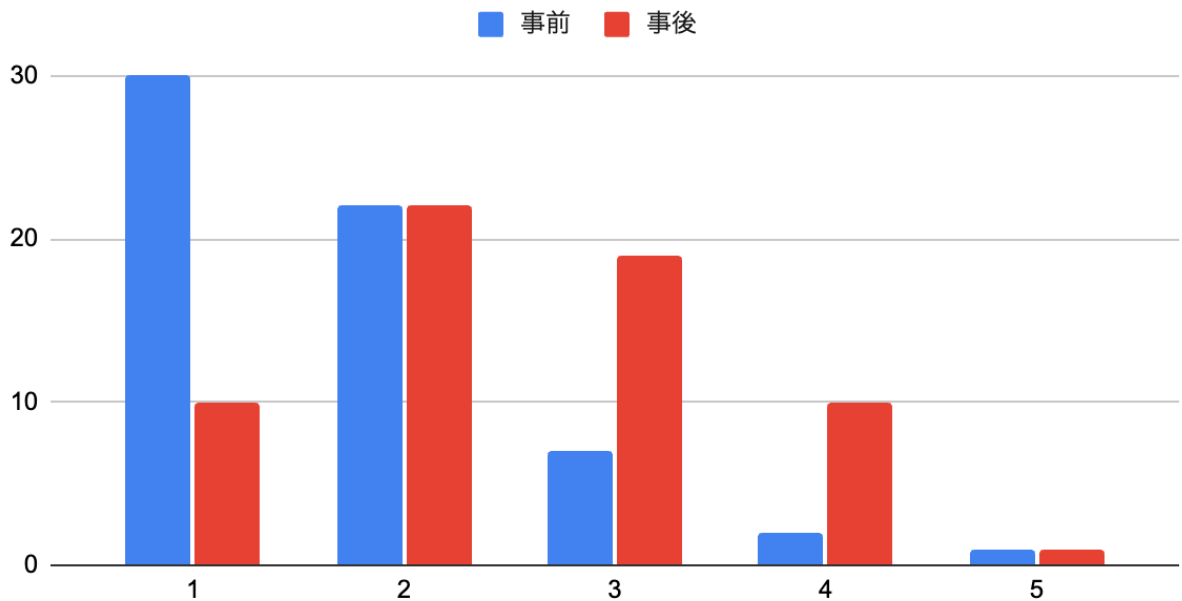
参加者コメントによるワードクラウド



参加者のプログラム参加前後の変化（1）プログラミングスキルの自信が向上

参加者の66.2%がプログラミング未経験のため、事前に実施した調査ではプログラミングやコーディングのスキルに対して自信がないと答えた人が多い傾向にありましたが、プログラム終了後に実施したアンケートでは、65人中37人の自信が向上しました。

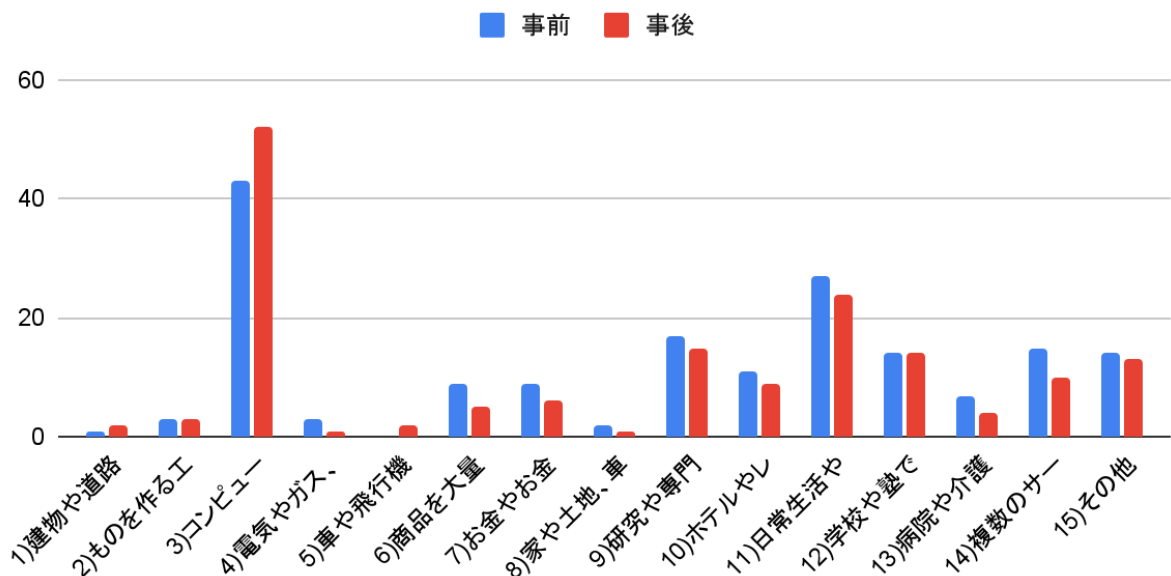
現在、プログラミングやコーディングのスキルにどれだけ自信がありますか？



参加者のプログラム参加前後の変化 (2) IT分野の勉強・就業意欲が向上

将来どのような分野の勉強またはどのような仕事をしたいか尋ねた（複数選択式、付録にて詳細記載）ところ、「3)コンピューターやスマートフォンのサービスやネットワークの仕事（情報通信，IT）」を選択した参加者の数が、プログラム開始前は43人だったのに対し、プログラム終了後には52人へと増加しました。

将来どのような分野の勉強またはどのような仕事をしたいですか？ (複数選択式)



また、アンケートに回答した65人中、64人がテックキャリアコースへの参加、もしくは他のテック関連プログラム・イベント・インターンシップへの参加を検討しており、IT関連の学習および就業に向けた取り組みを継続する意思が見られました。

参加者の声

- とても楽しい三日間をありがとうございました。最初の方は全体のグループで質問や発言をする人がほぼいなかったのに、三日目の感想はいろいろな人が発表していたのはスタッフの方々が毎回肯定的なことを行ってきていたおかげだと思います。テックキャリアコースもぜひ参加したいです。
- 不安がたくさんありましたが、それを上回る素晴らしい経験ができ、ITに関する知識という「新たな誰にも奪えない私だけの財産」を得ることができました。こんなに短い時間でこんなにも楽しく充実した日々を送れたことをとても嬉しく思います。本当にありがとうございました。

- このたびは、素敵な場を用意していただきありがとうございました。プログラミングだけではなく人間力やリーダーシップ力、言語化能力も高められた気がします。自分のやりたいことができるように頑張ります！
- とても楽しい時間でした。これからもプログラミングを勉強したい、もっと高度なアプリ開発をしてみたいというモチベーションにもつながりました。ありがとうございました！
- 本当に大変でしたが、短い時間の中で自分がすごく成長できたと思います。プログラミングが少しでもできるようになればいいなという視点で応募しましたが、自分の考え方やキャリア選択のことについての学習がすごく役に立つ内容でありがたかったです。

協賛企業の皆さま

本プログラムの開催にあたって、以下の企業にご支援いただいています。Waffleスタッフ一同、心から御礼申し上げます。（敬称略、50音順）

- Google.org
- 株式会社サイバーエージェント
- 株式会社セールスフォース・ジャパン
- ソニーグループ株式会社
- 株式会社日本総合研究所
- メットライフ生命保険会社

以上

（付録）

「将来どのような分野の勉強またはどのような仕事をしたいですか？（複数選択式）」の選択肢

- 1)建物や道路を作る仕事(建設業)
 - 2)ものを作る工場や工場での仕事(製造業)
 - 3)コンピューターやスマートフォンのサービスやネットワークの仕事(情報通信, IT)
 - 4)電気やガス、水を提供する仕事(電気・ガス・熱供給・水道業)
 - 5)車や飛行機で物を運ぶ仕事や郵便局での仕事(運輸業, 郵便業)
 - 6)商品を大量に売る仕事や店で商品を売る仕事(卸売業, 小売業)
 - 7)お金やお金の管理、保険に関する仕事(金融業, 保険業)
 - 8)家や土地、車などを貸したり売ったりする仕事(不動産業, 物品賃貸業)
 - 9)研究や専門的なサービスを提供する仕事(学術研究, 専門・技術サービス業)
 - 10)ホテルやレストランでの仕事(宿泊業, 飲食サービス業)
 - 11)日常生活や娯楽に関するサービスを提供する仕事(生活関連サービス業, 娯楽業)
 - 12)学校や塾での教育、学習支援の仕事(教育, 学習支援業)
 - 13)病院や介護施設での医療や福祉の仕事(医療, 福祉)
 - 14)複数のサービスを提供する仕事(複合サービス事業)
 - 15)その他
-